

平成27年10月8日

都内私立中学高等学校
校 長
数 学 担 当 教 諭 殿
関 係 教 職 員

一般財団法人東京私立中学高等学校協会
会 長 近藤 彰郎
東京私学教育研究所長 清水 哲雄
理数系教科研究会委員長 鈴木 弘
(共催：公益財団法人東京都私学財団)

理数系教科研究会（数学）「講演会」のご案内 これからの数学教育 ～「流行不易」を考える～

秋涼の候、先生方におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、今回は横浜市立大学名誉教授である一楽重雄先生をお迎えしての講演会を実施する運びとなりましたので、ご案内申し上げます。

教育を取り巻く状況がめまぐるしく変化する昨今、改めて数学教育について考える有意義な会となることと思われまます。

校務ご繁多の折とは存じますが、先生方お誘い合わせのうえご参加くださいますようご案内申し上げます。

記

1. 日 時 平成27年11月27日（金）18：00～20：00（予定）
2. 会 場 アルカディア市ヶ谷（私学会館）会議室 千代田区九段北4-2-25 TEL 03(3261)9921（代）
3. 講 師 一楽 重雄 先生（横浜市立大学名誉教授）
4. 演 題 「これからの数学教育 ～「流行不易」を考える～」

昨年11月に、下村文部科学大臣が中央教育審議会に「初等中等教育における教育基準等の在り方について」という諮問をしました。これは、現行学習指導要領のスローガンである「生きる力」の育成を継承しつつ、教育の内容にとどまらず、その方法の転換をも求めたものです。

数学の内容自体は、社会がどう変化しようと変わらないと言ってよいでしょう。他の科目のように、時代とともに内容が古くなったり、間違っただものとされることはありません。しかし、数学教育においても、教え方、それに伴って内容も変わることが求められていると言えるでしょう。

日本の数学教育の現状をどう捉えるか、改善のポイントは何か？

数学教育における「不易」と「流行」について、具体例も交えて考えてみたいと思います。

- 5. 定 員 約60名 (申し込み順 ⇒ 定員になり次第締め切ります)
- 6. 参加費 無 料 (当協会会員各校の拠出金と(公財)東京都私学財団からの補助金で運営しております)
- 7. 申込方法 11月20日(金)までに下記宛に Web もしくは FAX にてお申込みください。

URL [http:// k.tokyoshigaku.com](http://k.tokyoshigaku.com)

東京私学教育研究所 理数系教科研究会
 担当：佐瀬・荒井・大垣・溝口
 TEL 03-3263-0544 FAX 03-3263-0560

《案内図》



■交通のご案内

-  地下鉄 有楽町線・南北線
市ヶ谷駅 (1またはA1) 出口
-  地下鉄 新宿線
市ヶ谷駅 (A4またはA1) 出口
-  JR中央線(各駅停車) 市ヶ谷駅
上記改札・出口から徒歩約2分

切り取らずにそのままFAXしてください。送り状は不要です。

理数系教科研究会(数学)「講演会」参加申込書 [11月27日(金)実施]

学 校 名	ふりがな 氏 名

上記の通り参加申し込みいたします。

東京私学教育研究所 御中

平成27年 月 日

校 長 _____ (印)

※FAX受理、受付完了等の連絡は省略いたします。(本申込書をお送りいただいた時点で受付完了です)
 申込確認が必要な方は、下記にご記入ください。後日、申込書受理書をFAXでお送りします。

・希望する

理由等	FAX番号:
-----	--------